

なきごえ



1968

8

大阪市
天王寺動物園協会

動物の紹介 [第24回]

「コウモリ」

夕涼みの夜空に音もなく忍者のようにひらり、ひらりと飛び交うどうぶつがいます。

これはイエコウモリと云って人里近くに住むコウモリで昼間は家屋の隙間に眠り夜になると出て来ます。

コウモリの翼の部分は手の指が発達して、その間を薄い膜がはられて翼の役を果たすようになったものです。このうすい膜は指の間から体の横をとって、足、尾まで覆っており、手足を前と後に動かして飛んでいるので鳥の飛び方とは少し異って、下手なように見えますが、飛びながら上手に方向を変えて虫を食べます。又一度飛び立つと帰るまで全く休むことなく飛び続ける力を持っています。

暗い所でも良く飛び廻るので、よく目が見えるのであろうと目かくしをしても壁や電線などにあたらず、上手に飛びます。次に、耳の穴をふさいだり、嗅かくを効かないようにして放つても全く同じようによく飛びます。

これらの実験の結果私達には分からない、すぐれた音波を皮膚から出すのだらうといわれています。

コウモリは6月末から7月の始めに子供を産みますが巣はつきりません。後足のカギのような爪を洞穴の天井や板の隙間にひっかけてぶら下がっていますが、子供を産む時は、前肢の親指の爪も天井にひっかけ尾の両側にある膜を袋のようにして産まれた子供をこの袋の中に入れます。子供は赤裸ですが数日のうちにうぶ毛が生えて手足の爪も強くなり母親は子供をお腹にしがみつかせたまま餌を求めて飛びます。10日も経つと重くなるのでその時は子供の爪も強くなって自分の力で天井に下って親の帰りをまっています。1ヶ月もするともう親と共に飛べるようになります。

夏の夜は毎晩見かけたコウモリも11~3月には全く見かけなくなります。これは冬眠するからです。ヤマネが冬眠すると体温が下り活動しているときより貯蔵された栄養分を使わないようにすると、冬眠の要領は全く同一ですがよくも4ヶ月もぶら下ったままで居られるものだと感心します。

コウモリの活動は日没から2時間位が最も活発だとせられています。これは夜露が下りると昆虫も余り活動しなくなることを知っているからでしょう。

ユビナガコウモリは洞穴の中の湿気が多く暗く



て不気味なところになります。生息状態を観察した記録によると、一年中同じところで住むものと、1年に数回住み家をかえるものがあります。

普通私達が見かけるコウモリは虫類を食べ

て生活していますが南洋諸島、インド、日本では沖縄に住むコウモリは果物を喰べて生活します。写真は大東オオコウモリで本園に来てから既に5年目を迎えます。バナナなどを示すとよってきますが、野生のもの、採食活動はやはり夜になってからで果樹園を一夜にして荒すこともあるので果樹栽培家の大敵とせられています。

この他に南アメリカには眠っている動物に音もなく忍びよって血を吸う吸血コウモリというのがあります。吸血箇所から血が流れないように一種の止血剤を血液の中に持ってそと舐めて止血すると云うにくいことをやります。それよりも吸血したあとの創を分からなくする技術は大したものです。

又メキシコ湾に住むノクチリオと云うコウモリは魚ばかり喰べている種類として知られています。

(松岡 恵爾)

表紙の写真説明

トラ

5月30日、トラに2頭の赤ちゃんが生まれました。現在、すくすく成長していますが、広い放飼場に出るには未だあまり小さすぎるようです。この秋には親仔で入園の皆さんにお目見得できると思います。

トラの出産

トラのお産は国内の各動物園においてもしばしばありますので、そう珍らしいことではありませんが、やはりトラの赤ちゃんは“虎の子”と昔からことわざにいわれるように大事なもののしるしのようなのです。私が動物園に勤務するようになったのは昭和38年ですが、この年の5月に新設された猛獣の放飼場に、かわいい生後6ヶ月の虎がやってきました。したがって、このトラは私と動物園での同期生なのです。

その後順調に発育している姿を見ていましたが、前任者の都合で昨年私がこの虎の飼育を担当するようになりました。もうすっかり成長してオスの方はベンガル虎で大きく逞しく、しまの線も太く、元気そのもので暑いときは濠のプールで元気に泳いだりします。メスの方はしまが細く体型も小さいのですが、2匹とも仲よく元気に育っていました。

交尾の気配が始まったのは一昨年からです、どう

も期待の持てるようなものではありませんでした。しかし今年1月30日に突然お産して私をびっくりさせました。初産のことで母トラの興奮が著しいものでした。産室も暗くしていなかったし、充分なわらの準備もしていなかったのに、赤ちゃんトラは酷寒期の寒さに耐えられなかったのか、その夜のうちに死んでしまいました。

その後、2月19日から23日までの間に交尾がありましたので、今度こそは成功させようと決心しました。

トラの妊娠期間は約108日です。猛獣は常に他の野獣を捕えて食べている関係上、敏速な動作をする必要性から、お腹の膨らみも他の動物のようにはっきりしないことが多いのです。それでも何か変わった様子が現われないものかと毎日注意を払っていました。4~5月頃からオスと共に遊ぶこ



とをあまり好まないようになりましてのでこれは妊娠の兆候の1つに違いないと思いました。

5月中頃より乳房が脹っているのを認めましたので、早速獣医さんに報告して見てもらいました。腹部もややふくらんでいるので90%期待もてることでした。私の計算では6月3日頃ということになりますので、早速、産室の外に毛布を張り、天井の明り窓にもトタンを置いて完全に暗くしてやり、出産前のメス虎を安定させるようにしたところ、好んで暗い方に行くようになりました。また、運動も好まなくなり、5月28日には産室から全く出なくなりました。5月30日、朝行ってみると前日に与えた餌を全く食べていません。肉の保管でも悪くお腹でもこわしたのではないかと、ドキリとしましたが、何やら気配がおかしいので静かに中をうかがうと、新しい生命の誕生が伺われます。何頭いるのか、元気かどうか非

常に気になりましたが、親を不必要に興奮させることを恐れたのでぞいたりしませんでした。5月31日、前日に与えた餌は全部食べており、わらの上に小さな動物のうごめきを

感じました。また、時々、チュウチュウと乳をすう音も聞かれました。

1週間目より、これまで姿を見せなかった母虎は餌の時間を待ちかねるような姿を見せました。産後の興奮状態がだんだんにさって安定してきたのでしよう。

私は慎重に約1ヶ月をかけて産室を少しずつ、少しずつ明るくしてやりました。そこに2匹の可愛い元気な赤ちゃんトラの姿がありました。体は母親よりずっと淡い色ですがはっきりと黒いしま模様があります。十分に母トラのお乳をすってまると太っていました。

秋にはお母さんトラといっしょに放飼場に遊ぶ姿をおみせすることができると思います。

(正木 時雄)

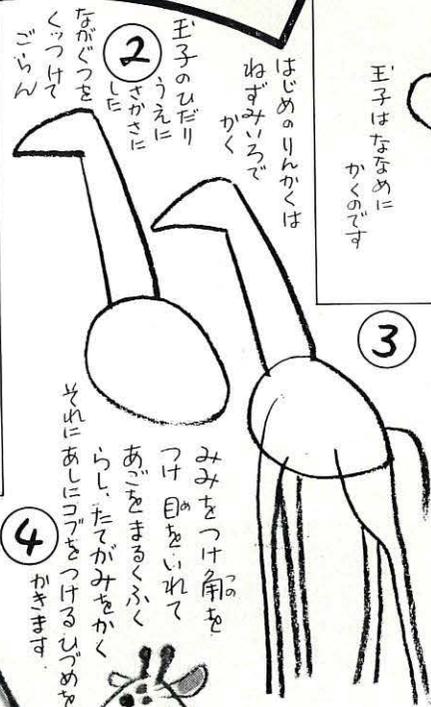
キリンのかきかた



6メートルほどあるせいだかのほ
みみはおおきくよくきこえる
はしるとの5キロのほ

キリンのくびのながいのは
たかい木の葉をたべやす
いためです。

キリンのほんとのなまえは
ジラフといひます。



4 かきかた

まえあしがながく
したを
むくのは
こんな
へんてい
かきかたです。



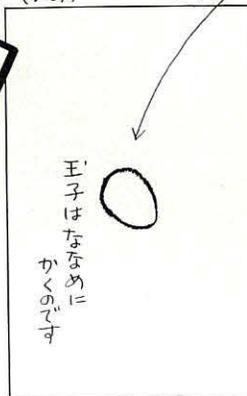
あしのながいのは
はやくはしれるためです。

あしはくびよりすこしながくかいてください。

あしはくびよりすこしながくかいてください。

指導 藤原せいけん画

1 重厚紙のまんなかには王子をかき
(かみ) (かま)



王子はななめに
かきかたです。

2 かきかた

王子のひだり
うえに
うえに
ななめに
かきかた
はじめるりかかへ
ぬすみころで
かく

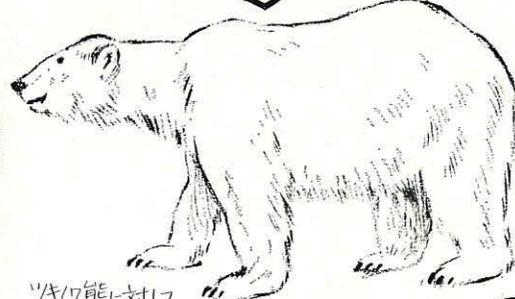
3 かきかた

ながくつよりすこしながくお足を
かいてくださいしかしうしろ足の
ふとそとはふとくかいてください

5 かきかた

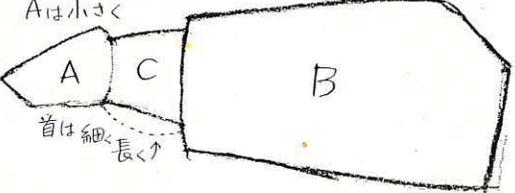
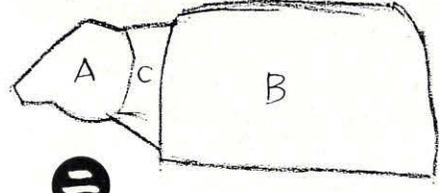
ねづみころでりんかくがせんぶかけたら
キリンの色であしのコブからうしたをのこ
してぬりつぶしそのあとでキリンのまよう
をかき茶色でりんかくかきかたをおしまし
あとしはく
いかに
かきかた

熊の画のかきかた



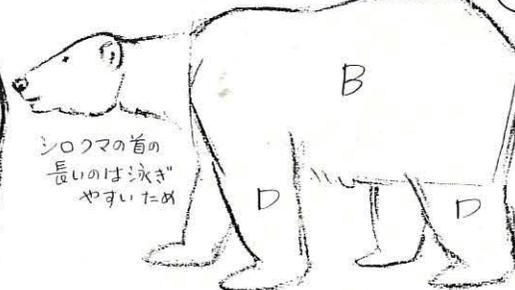
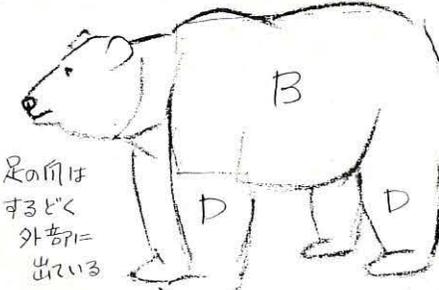
1 Aは顔 Bは胴 Cは首 この間隔をよく見てかく

シロクマはAとBの間のCは細く長く
胴のBは長く太くかく



2 前足は肩の方からかいたらよい 熊の足は短い方です

シロクマの首は長い目にかく



足の肩は
すどく
外側は
出ている

シロクマの首の
長いのは泳ぎ
やすいため



熊は猛獣のくせにヒゲがない
視力より嗅覚と
聴覚が
発達して
牙より前肢が
最大の武器で一発のパンチはそのすごい
ものを掴み、木に登るのは熊の特技である。

シロクマのやさしい顔

7月動物園日記

- 3日 サル島からニホンザル5頭が脱走してしまいましたが、4日間かかって全部捕獲しました。
- 9日 台北動物園へ、センザンコウなどのお礼としてアナグマ

- 2頭、コブハクチョウ2羽を空路送りました。
- 13日 オオゾルが今年も産卵し、抱卵しています。
- 14日 ライオンの赤ちゃんが2頭生まれましたが、母ライオンが授乳させないので人工哺育することにしました。
- 17日 サイのめすが下痢をしましたが、投薬の結果2~3日後

- に回復しました。
- 20日 元警察犬アポロ号は動物園で治療を受けましたが犬糸状虫による肺動脈栓塞のため死にました。
- 21日 キツツキの寄附がありました。
- 23日 トラの赤ちゃん2頭は、すくすく成長し、今日はじめて

- お母さんトラと放飼場の方に出してもらいました。
- 24日 オランウータンのおす(推定9才)が突然死亡しました。解剖の結果熱射病と胆石症とわかりました。

ペットを訪ねて

「ヘビを友として」

大阪府枚方中小企業団地
中央理化学工業KK内

今道喜代士さん

日本の西の果て、長崎県福江市で育った今道さんは、幼い頃から大の動物好きだった。

山野を駆けめぐっては、その豊富な自然の生物を捜し求めて、鳥や、イタチやヘビを追う毎日を送った。捕えた獲物たちで家の中はいつも満員。お蔭で父から小言を頂戴する事が多かったが、今道さんの病は年と共に益々昂ずるばかり。高校生の頃からは、ヘビ一辺倒になってしまった。

「ヘビは他の動物にないいろいろな習性や特徴を持っています。例えば、手足がないのに自由自在に動く体。マブタのない目、丸呑みするだけで噛む事の出来ない歯。脱皮しなければ成長出来ない体のメカニズム等等。こうした点に強くひかれてヘビばかり飼う様になりました。」。実際に、は虫類の生態や生理はまだ未知の問題が非常に多い。今道さんはこれらの問題を一つ一つ解いていくため、ヘビに打込んでいく訳だ。

毎年、数十匹のヘビを捕えては、自宅で、或は学校で飼育観察を行った。青大将を始め、シマヘビ、ヤマカガシ、ヒバカリ、ジムグリ、シロマダラ等々、果てはマムシまで、日本産ヘビ類のすべてを蒐め、生態観察の資料とした。

「産卵日やふ化日が近づくと、嬉しさの余りソワソワして落ち着きません。生まれ出るまで時のたつのも忘れて徹夜することもしばしばです。でも、一度、あまり近くで観察していたため、目に飛びつかれて、危うく失明するところでした。毒性試験のため、飼っていたマムシが友人に噛みついて指が動かなくなった事があってそれ以来、毒蛇だけは止めました。」

生態観察だけでなく、解剖してその生理も調べ、時にはレントゲン撮影もする。双頭の蛇を発見した時は、徹底的にその生理を究明したそうです。

「ヘビは環境と給餌法さえ適切であれば、すばらしい発育振りを示す動物です。一年前、買った



ニシキヘビは体長1.7メートル・重さ1キロだったのが、一年目には2.7メートル、10キロにも成長しました。お蔭でアパートでは如何にもならず、動物園へ寄附しました。」

接着剤製造という時代の先端を行く会社の技

術開発課に勤める今道さんは今でも、通勤途中や日曜日には、ヘビを求めて歩き廻る。ついでにエサのカエルやネズミも捕えて持って帰る。家にはエサ用としてシロネズミも増殖している。

飼育のコツは「明暗半々の檻で湿度は余り高くない方が良い様です。時々、日光浴をさせて換気に注意すること。清潔にしてエサを充分に与えればドンドン成長します。」とのことでした。

話を聞いている最中でも、今道さんの手には、2匹の南米産ボアが静かに巻付いています。その丸味を帯びた光沢のある体は、健康にあふれています。人々に見付けられては、唯、殺される事の多いヘビたちにとって、健康で安心しきったそのボアの姿に、日頃のヘビに対する深い愛情が偲ばれるのでした。

(中川道朗)

なきごえ 8月号もくじ

動物の紹介(コウモリ).....	2
トラの出産.....	3
動物画シリーズ(№2).....	4, 5
ペットを訪ねて(ヘビを友として).....	6
動物園ニュース.....	7

動物園ニュース

☆おめでた

◦エランドの出産



7月15日生まれた。

エランドはアフリカのかもしかの中でも一番大きな種類です。おすにもめすにも角がありません。去年は流産していますので、今年こそ

そほと期待していました。幸い安産で、子どもはベージュ色の体に胴のあたりに10本ほどの白いしまが鮮やかに入っていて大変美しい。

エランドは日本の動物園ではたくさん繁殖しています。

◦トラの出産

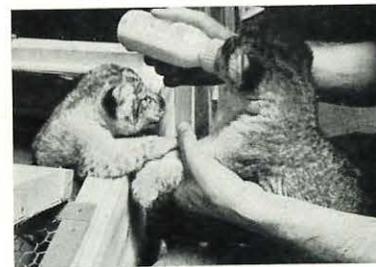


昭和38年8月に2才で入園しました。当時は小さくて、広い放飼場に放されるところに行っ

たのか分らないくらいでした。それから5年目、立派に成長して2頭の赤ちゃんをもうけました。

(5月30日)

◦ライオンの人工哺育

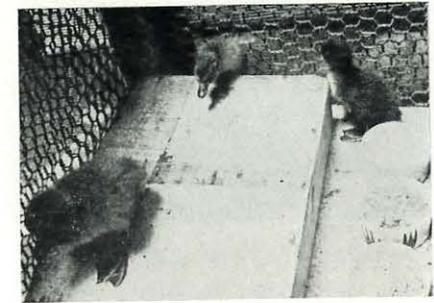


7月14日ライオンの赤ちゃん2頭(おす、めす)が生まれました。今度もあまり授乳させていないようなので、16日朝から引きと

って人工哺育することにしました。肉食獣用に特別に作られたミルクを2時間ごとに与えられ、元気に育っています。

☆キンクロハジロのひなのふ化

アイスランドより空輸されたカモの卵30コのうちキンクロハジロ3羽がふ化しました。一昨年よりずっとかものふ化を手がけてきましたが、カモの卵はやはり水鳥用

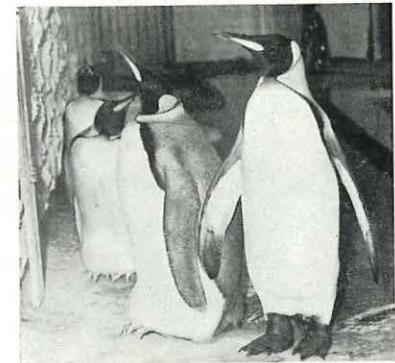


のふ卵器でなければ成績があがりません。

全身うぶ毛におおわれた小さなひなは小さなブルー

の中で、うき草を食べたり、水にもぐったりして元気に大きくなっています。

☆キングペンギンの抱卵

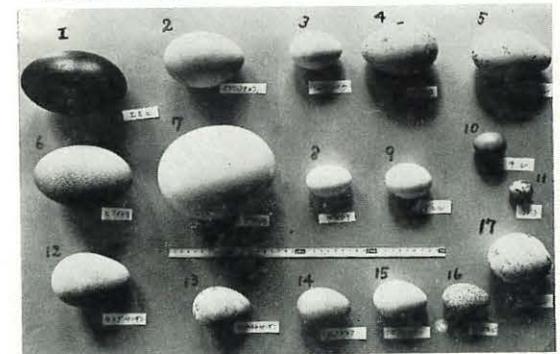


6月17日と20日に各1羽が産卵し、抱卵を続けています。一昨年に続いての抱卵ですが、今年

は新しい冷房室なのでふ化が期待できます。キングペンギンのふ化は、国内

では長崎の水族館で2度あります。17日に産卵した方はおすともすが1日交替で抱卵していますが他のものは1羽きりですからこの方はあまり期待できません。抱卵期間は60日ですから、うまくゆくと8月17日~18日にはかわいひながかえることとなります。

卵の大きさくらべ



動物園では今年もいろいろな種類の鳥たちが形も色も大きさも変わった卵をうみました。

写真は、今まで標本として残しておいたものを写したものです。一番大きいのはダチョウ(7)です。変わったものはハゲワシ(17)の卵です。

先生！ 運動用具はそろっておりますでしょうか？

発育ざかりの現代っ子に必要な、とび箱、鉄棒など、情操教育と体力向上の手助けをする、数々の運動用具は、そろってお

りますでしょうか、安全性をモットーとし、運動器具の製作・設置をしているのが、長い歴史を誇る堺の木下製作所です。



創業・明治37年 文部省指定工場

株式会社 木下製作所

大阪府堺市鳳中町2丁目41

TEL 0722 (62) 0341・0596

おしゃれ仲間の合ことば
ミテケ・テケミ
を着よう！



テケ

テケ

あっちの友達、こっちの友達
みんな「ミテケ・テケミ」を着ています。
色がすっごくきれいです。

あなたも「ミテケテケミ」で
おしゃれをしてみましょう。

仲間の合ことば
思いっきり、遊べる服、
内外の子供服「ミテケ・テケミ」を着よう！！



肌着から洋服まで

シルバークロス

内外衣料製品株式会社